

機関名	奄美市教育委員会
任命権者	奄美市教育委員会教育長
計画期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年間）
教育委員会事務局における障害者雇用に関する課題	<p>教育委員会事務局においては、令和元年12月31日時点で、法定雇用率が未達成であることから、早期に法定雇用率を達成するため、積極的な採用活動が必要である。</p> <p>また、人事異動等も含め、配属された障害者である職員の活躍のために更なる体制整備や各種取り組みを推進する。</p>
目 標	
① 採用に関する目標	<p>【実雇用率】</p> <p>各年度における当該年6月1日時点の法定雇用率以上 （評価方法） 毎年の任免状況通報により把握・進捗管理</p>
② 定着に関する目標	<p>不本意な離職者を極力生じさせない。 （評価方法） 毎年の任免状況通報のタイミングで、人事記録を元に、前年度採用者の定着状況を把握・進捗管理</p>
取 組 内 容	
1. 障害者の活躍を推進する体制整備	<p>○障害者雇用推進者として教育部長を選任する。</p> <p>○各事業所において障害者職業生活相談員の選任義務の有無に関わらず、相談窓口として障害者である職員が配属された部署の係長、課長の順に設定する。また、課長については、必要に応じて教委総務課長に報告することとする。</p> <p>○障害者職業生活相談員の選任義務が生じた場合には、3か月以内に選任するとともに、当該選任しようとする者が資格要件を満たさない場合には、資格要件を満たすことが可能な障害者職業生活相談員資格認定講習を受講させる。</p>
2. 障害者の活躍の基本となる職務の選定・創出	<p>○採用又は部署移動その他定期的に面談等を行い、障害者と業務の適切なマッチングができているかの点検を行い、必要に応じて検討を行う。</p> <p>○障害等により従来の業務遂行が困難となった等相談があった場合は、労働局等関係機関に相談しつつ、負担なく遂行できる職務の選定及び創出について検討する。</p>
3. 障害者の活躍を推進するための環境整備・人事管理	<p>○相談窓口への相談のほか、人事評価面談の際、障害者である職員に対しては、必要な配慮等の有無を把握することとし、その結果を踏まえて検討を行い、継続的に必要な措置を講じる。</p> <p>○なお、措置を講じるに当たっては、障害者からの要望を踏まえつつも、過重な負担にならない範囲で適切に実施する。</p>
4. その他	<p>障害者就労施設等からの物品等の調達等に関する法令に基づく障害者就労施設への発注等を通じて、障害者の活躍の場の拡大を推進する。また、養護学校等と連携を図り教育委員会関係への職場体験を通して職員の障害者への理解を深める取り組みを行う。</p>